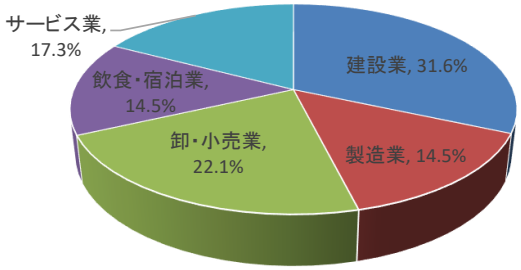
十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書（R4.10.1～R4.12.31）松之山地区

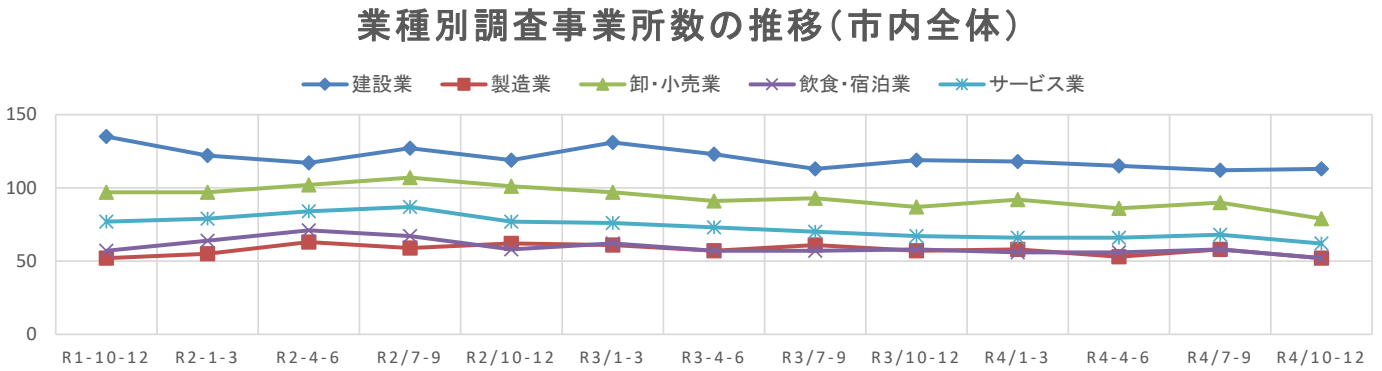
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

＜十日町市内全体＞

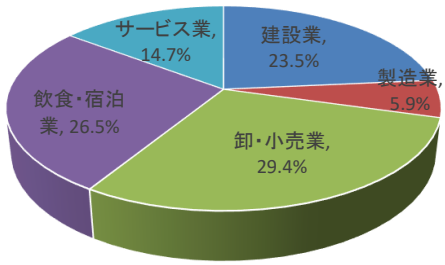


	事業者数	構成比
建設業	113	31.6%
製造業	52	14.5%
卸・小売業	79	22.1%
飲食・宿泊業	52	14.5%
サービス業	62	17.3%
全業種合計	358	100.0%

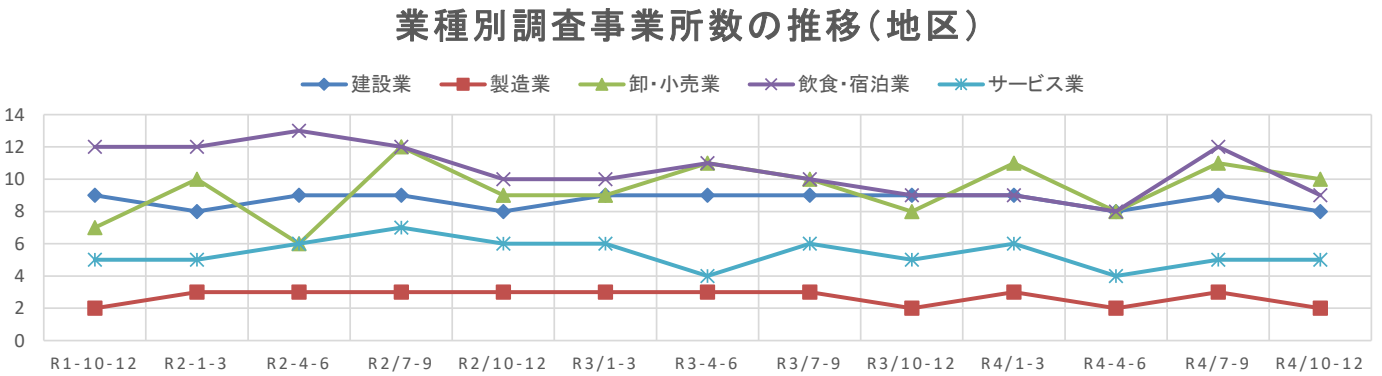


＜コメント＞
　今回の調査は、十日町市内358事業所から回答を得られ、前回調査よりも28事業者減少している。建設業以外の業種において減少が見受けられた。

＜地区別：松之山地区＞



	事業者数	構成比
建設業	8	23.5%
製造業	2	5.9%
卸・小売業	10	29.4%
飲食・宿泊業	9	26.5%
サービス業	5	14.7%
全業種合計	34	100.0%



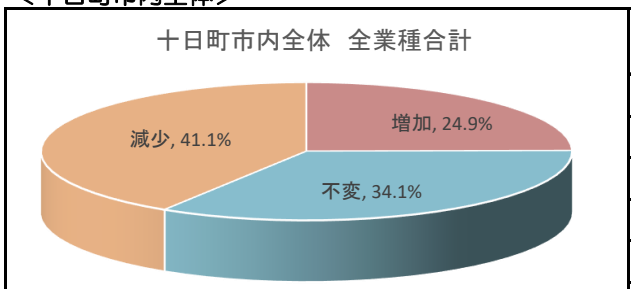
＜コメント＞
　松之山地区の今期の調査回収状況は、配布５９事業所の内３４事業所から回答があり、回収率は57.6%であった。前回調査時よりも６事業所減少しており、飲食・宿泊業の構成割合が3.5%減っている。

ＤＩ値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－(減少・悪化などの回答割合)

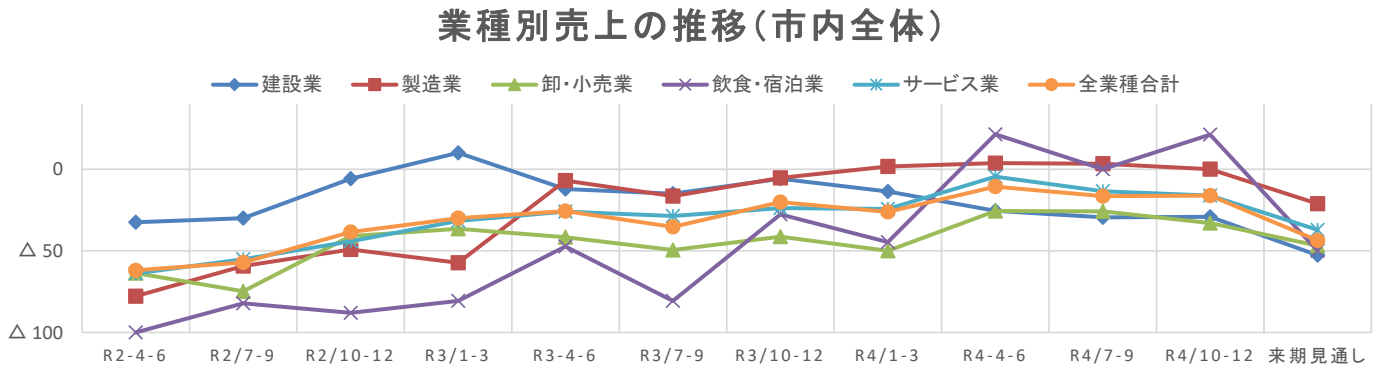
１．売上について

・１０月～１２月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

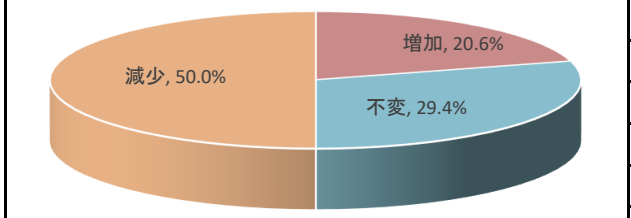


	増加 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	15.0%	40.7%	44.2%	△ 29.2	△ 29.5	△ 52.7
製造業	34.6%	30.8%	34.6%	0.0	3.4	△ 21.2
卸・小売業	15.2%	36.7%	48.1%	△ 32.9	△ 25.8	△ 46.8
飲食・宿泊業	48.1%	25.0%	26.9%	21.2	0.0	△ 50.0
サービス業	27.4%	29.0%	43.5%	△ 16.1	△ 13.4	△ 37.1
全業種合計	24.9%	34.1%	41.1%	△ 16.2	△ 16.4	△ 43.7

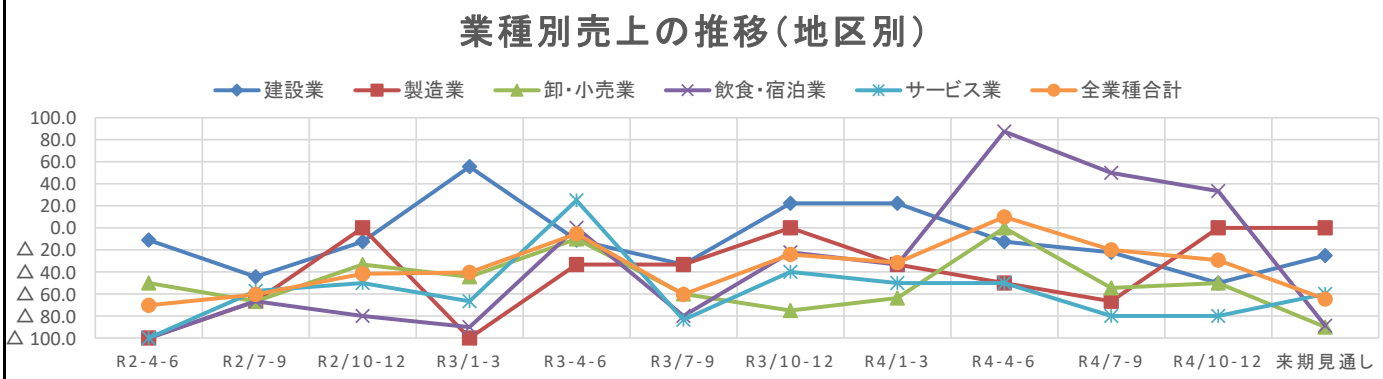


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△16.2ポイントで、前回調査時よりも0.2ポイント増加となっている。DI値が減少した業種のほうが多い中、飲食・宿泊業の増加が大きかったことが要因となる。来期は、全業種においてDI値が大幅に減少する見通しである。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	12.5%	25.0%	62.5%	△ 50.0	△ 22.2	△ 25.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 66.7	0.0
卸・小売業	10.0%	30.0%	60.0%	△ 50.0	△ 54.5	△ 90.0
飲食・宿泊業	55.6%	22.2%	22.2%	33.3	50.0	△ 88.9
サービス業	0.0%	20.0%	80.0%	△ 80.0	△ 80.0	△ 60.0
全業種合計	20.6%	29.4%	50.0%	△ 29.4	△ 20.0	△ 64.7

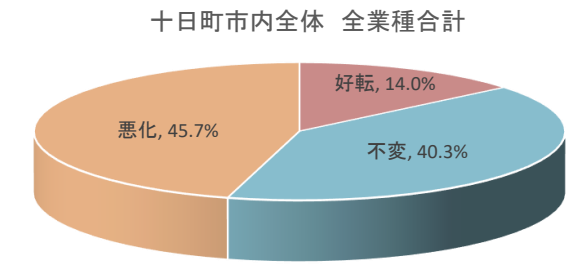


＜コメント＞　松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△29.4ポイントで、前回調査時よりも9.4ポイント減少となっている。製造業と卸小売業にて増加が見られたものの、建設業と飲食・宿泊業にて減少が見られ、全体での減少となっている。来期見通しでは建設業とサービス業で増加予測があるものの、卸・小売業と飲食・宿泊業で大きく減少予測されている。

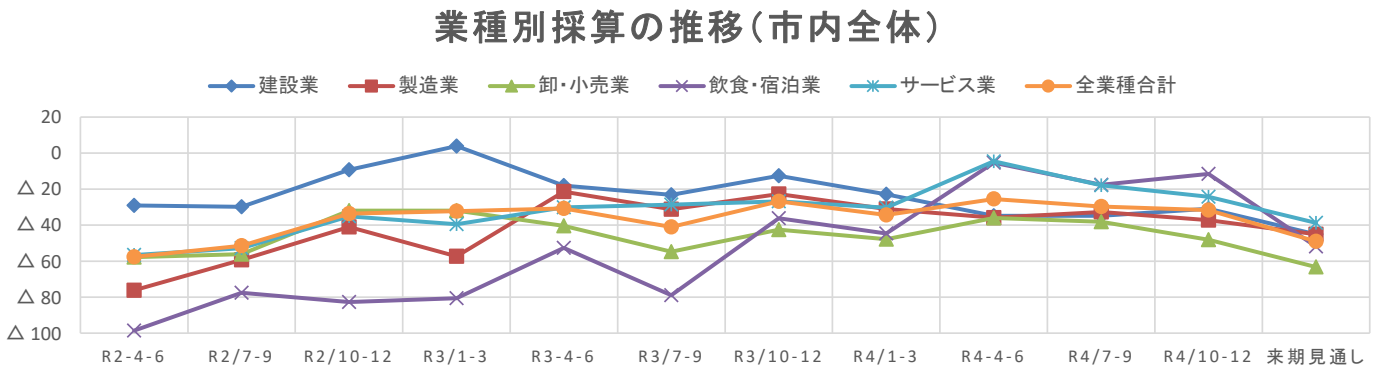
２．採算について

・１０月～１２月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

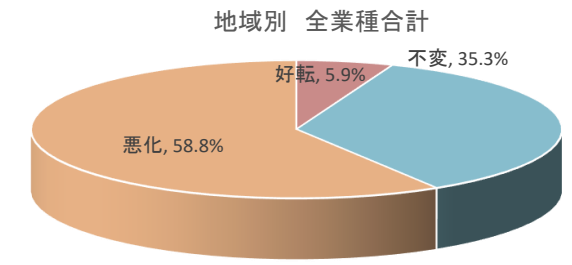


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	11.5%	46.0%	42.5%	△ 31.0	△ 34.8	△ 45.1
製造業	15.7%	31.4%	52.9%	△ 37.3	△ 32.8	△ 45.1
卸・小売業	7.6%	36.7%	55.7%	△ 48.1	△ 38.2	△ 63.3
飲食・宿泊業	23.1%	42.3%	34.6%	△ 11.5	△ 17.5	△ 51.9
サービス業	17.7%	40.3%	41.9%	△ 24.2	△ 17.9	△ 38.7
全業種合計	14.0%	40.3%	45.7%	△ 31.7	△ 29.8	△ 49.0

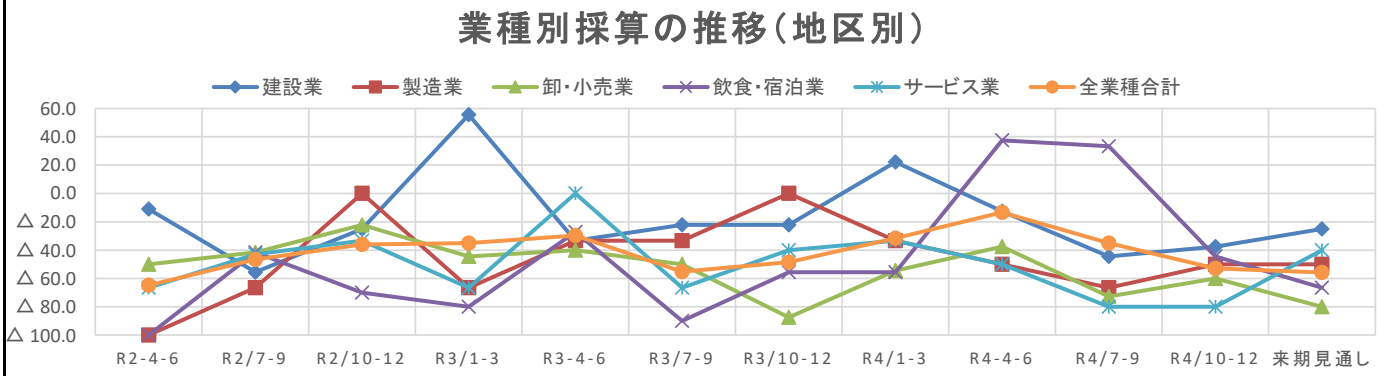


＜コメント＞　十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△31.7ポイントで、前回調査より1.9ポイント悪化している。引き続き原料、燃料の高騰の影響が尾を引いていると思料され、特に卸・小売業、サービス業での悪化が目立った。来期見通しでは、引き続き全業種DI値は、悪化する見通しとなっている。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	12.5%	37.5%	50.0%	△ 37.5	△ 44.4	△ 25.0
製造業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 66.7	△ 50.0
卸・小売業	0.0%	40.0%	60.0%	△ 60.0	△ 72.7	△ 80.0
飲食・宿泊業	11.1%	33.3%	55.6%	△ 44.4	33.3	△ 66.7
サービス業	0.0%	20.0%	80.0%	△ 80.0	△ 80.0	△ 40.0
全業種合計	5.9%	35.3%	58.8%	△ 52.9	△ 35.0	△ 55.9

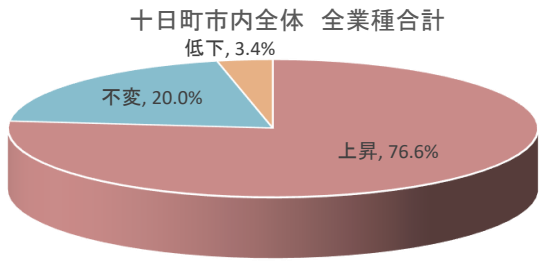


＜コメント＞　松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△52.9ポイントで、前回調査時よりも17.9ポイント悪化となっている。建設業、製造業、卸・小売業にて若干の好転が見られたものの、飲食・宿泊業での悪化が大きく全体数値を引き下げている。来期見通しでは建設業とサービス業にて好転予測されているが、卸・小売業と飲食・宿泊業にて悪化予測があり、今期と同水準で推移されるものと思われる。

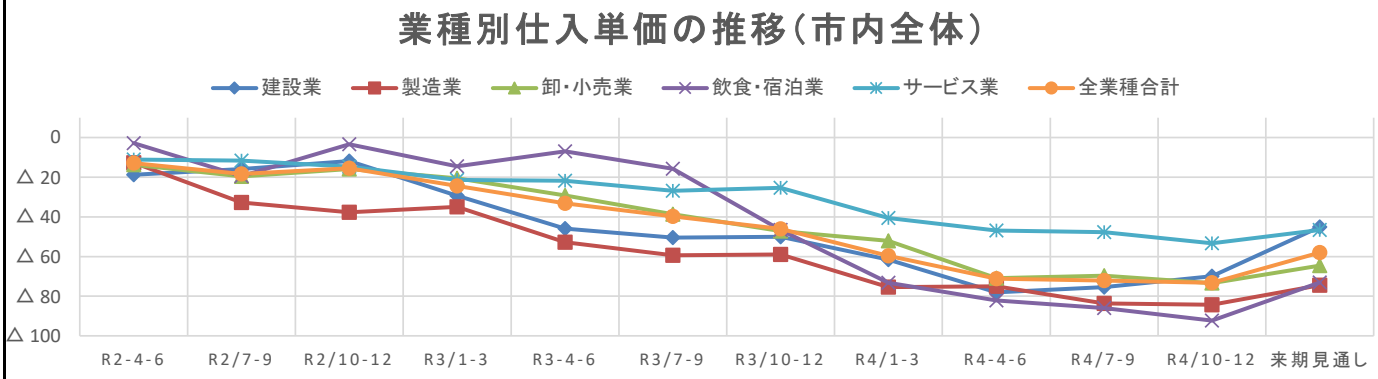
３．仕入単価について

・１０月～１２月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

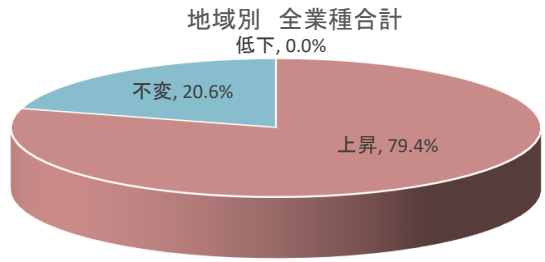


	上昇 %	不変 %	低下 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	75.2%	19.5%	5.3%	△ 69.9	△ 75.5	△ 45.1
製造業	86.3%	11.8%	2.0%	△ 84.3	△ 83.6	△ 74.5
卸・小売業	77.2%	19.0%	3.8%	△ 73.4	△ 69.7	△ 64.6
飲食・宿泊業	94.2%	3.8%	1.9%	△ 92.3	△ 86.0	△ 73.1
サービス業	55.0%	43.3%	1.7%	△ 53.3	△ 47.7	△ 46.7
全業種合計	76.6%	20.0%	3.4%	△ 73.2	△ 72.1	△ 58.0

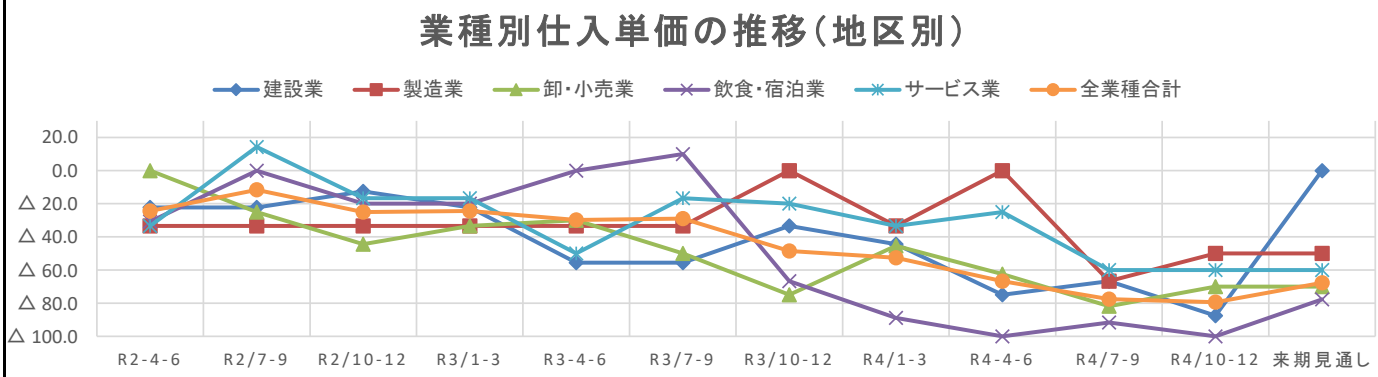


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△73.2ポイントで、前回調査時よりも1.1ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。建設業以外の業種において上昇しており、原料・燃料高騰の影響が続いていると予想される。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、以前として動向には、注視する必要がある。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	低下 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	87.5%	12.5%	0.0%	△ 87.5	△ 66.7	0.0
製造業	50.0%	50.0%	0.0%	△ 50.0	△ 66.7	△ 50.0
卸・小売業	70.0%	30.0%	0.0%	△ 70.0	△ 81.8	△ 70.0
飲食・宿泊業	100.0%	0.0%	0.0%	△ 100.0	△ 91.7	△ 77.8
サービス業	60.0%	40.0%	0.0%	△ 60.0	△ 60.0	△ 60.0
全業種合計	79.4%	20.6%	0.0%	△ 79.4	△ 77.5	△ 67.6

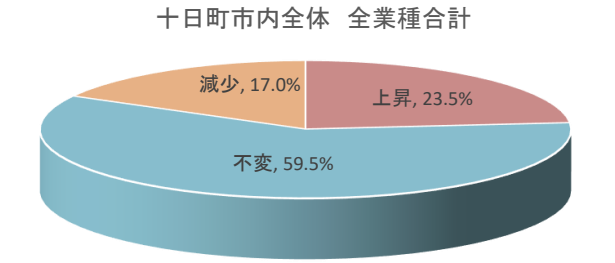


＜コメント＞　松之山地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△79.4ポイントで、前回調査時よりも1.9ポイント上昇となっている。製造業と卸・小売業にて若干の減少が見られたが、建設業と飲食・宿泊業で上昇となっている。なお、低下と回答した事業所は無かった。来期見通しでは建設業と飲食・宿泊業で低下予測されているが、その他の業種は今期と同水準が続くものと予測している。

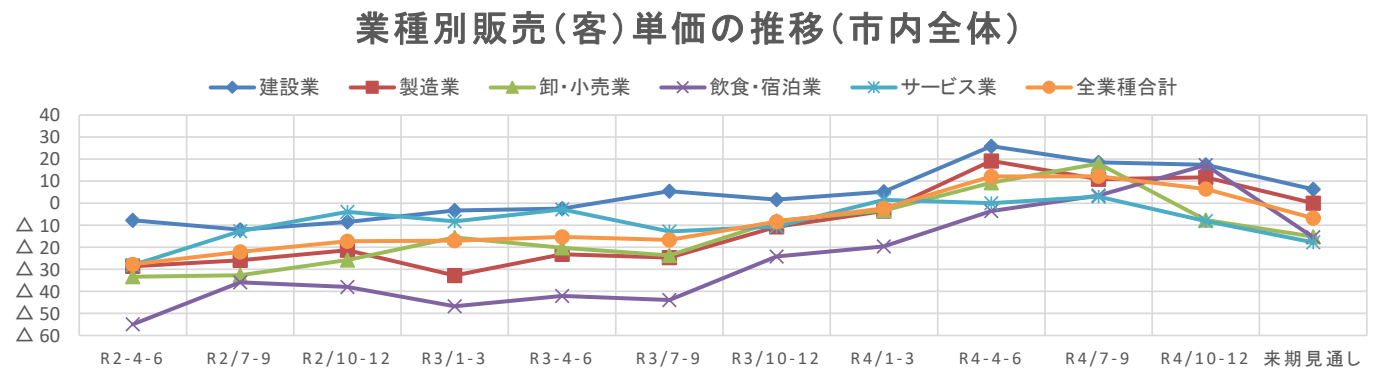
４．販売（客）単価について

・１０月～１２月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

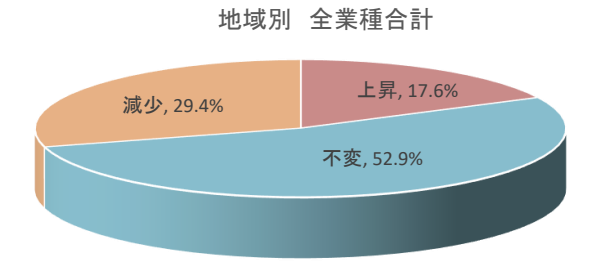


	上昇 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	23.9%	69.7%	6.4%	17.4	18.5	6.3
製造業	25.5%	60.8%	13.7%	11.8	10.9	0.0
卸・小売業	21.5%	49.4%	29.1%	△ 7.6	18.0	△ 15.2
飲食・宿泊業	36.5%	44.2%	19.2%	17.3	3.5	△ 15.4
サービス業	12.9%	66.1%	21.0%	△ 8.1	3.0	△ 17.7
全業種合計	23.5%	59.5%	17.0%	6.5	12.2	△ 6.8

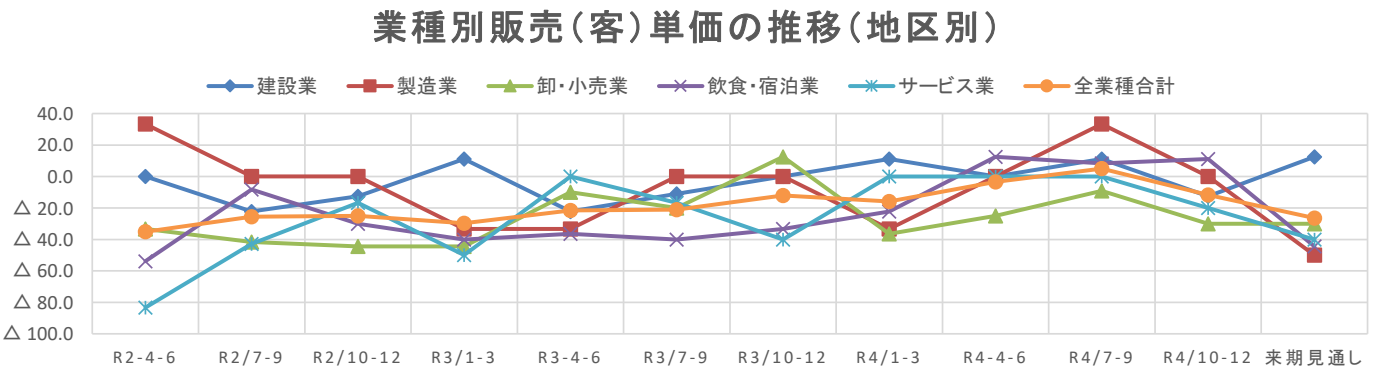


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で6.5ポイントで、前回調査時より5.7ポイント低下している。建設業と卸・小売業、サービス業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種でさらに低下予測となり、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	0.0%	87.5%	12.5%	△ 12.5	11.1	12.5
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	33.3	△ 50.0
卸・小売業	20.0%	30.0%	50.0%	△ 30.0	△ 9.1	△ 30.0
飲食・宿泊業	33.3%	44.4%	22.2%	11.1	8.3	△ 44.4
サービス業	20.0%	40.0%	40.0%	△ 20.0	0.0	△ 40.0
全業種合計	17.6%	52.9%	29.4%	△ 11.8	5.0	△ 26.5

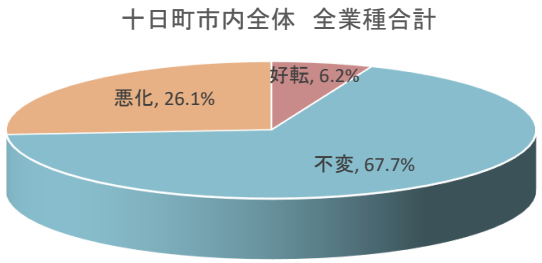


＜コメント＞　松之山地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値で△11.8ポイントで、前回調査時よりも16.8ポイント減少となっている。飲食・宿泊業で若干の上昇があったものの、その他の業種では減少となっている。来期見通しでは建設業で上昇予測があるものの、製造業と飲食・宿泊業で大きく減少予測されており、全業種では今期よりも減少するものと思われる。

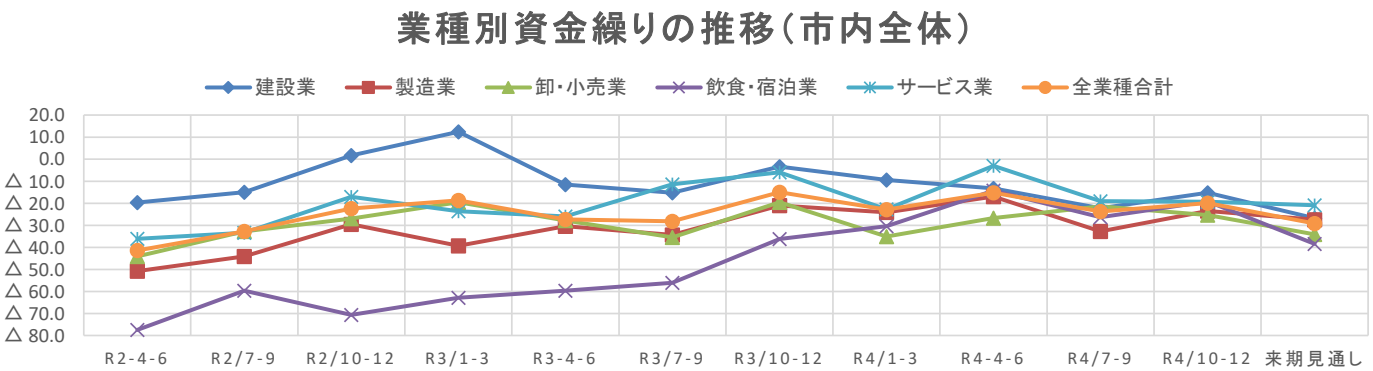
5．資金繰りについて

・１０月～１２月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

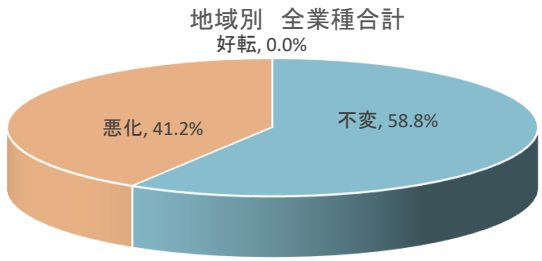


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	8.0%	68.8%	23.2%	△ 15.2	△ 22.3	△ 26.8
製造業	3.9%	68.6%	27.5%	△ 23.5	△ 32.8	△ 27.5
卸・小売業	3.8%	67.1%	29.1%	△ 25.3	△ 21.3	△ 34.2
飲食・宿泊業	9.6%	61.5%	28.8%	△ 19.2	△ 26.3	△ 38.5
サービス業	4.8%	71.0%	24.2%	△ 19.4	△ 19.1	△ 21.0
全業種合計	6.2%	67.7%	26.1%	△ 19.9	△ 23.7	△ 29.2

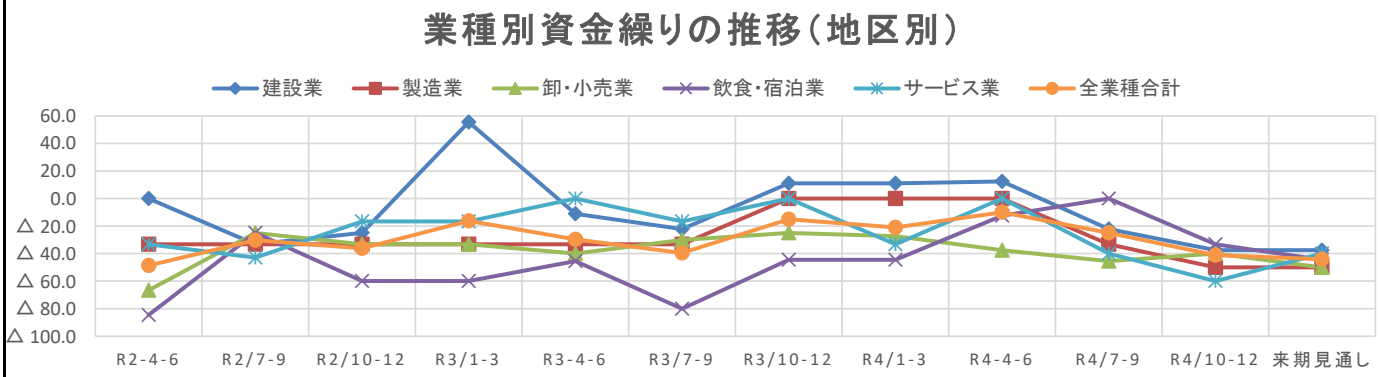


＜コメント＞　十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△19.9ポイントで、前回調査時より3.8ポイント改善している。卸・小売業、サービス業以外の業種で改善という形となった。来期見通しとしては、全業種で悪化予測となり、全体DI値についても悪化する見通しとなる。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	0.0%	62.5%	37.5%	△ 37.5	△ 22.2	△ 37.5
製造業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 33.3	△ 50.0
卸・小売業	0.0%	60.0%	40.0%	△ 40.0	△ 45.5	△ 50.0
飲食・宿泊業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	0.0	△ 44.4
サービス業	0.0%	40.0%	60.0%	△ 60.0	△ 40.0	△ 40.0
全業種合計	0.0%	58.8%	41.2%	△ 41.2	△ 25.0	△ 44.1

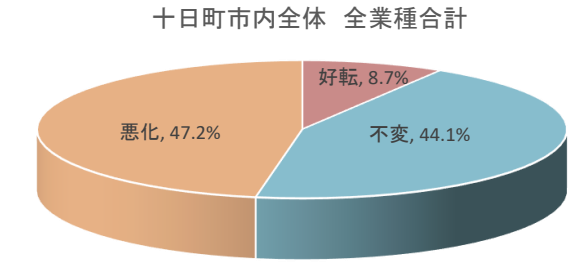


＜コメント＞　松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△41.2ポイントで、前回調査時よりも16.2ポイントの悪化となっている。卸・小売業にて若干の好転があったものの、その他の業種で悪化となっている。来期見通しではサービス業で好転予測があるが、その他の業種は今期と同水準で推移するものと予測している。

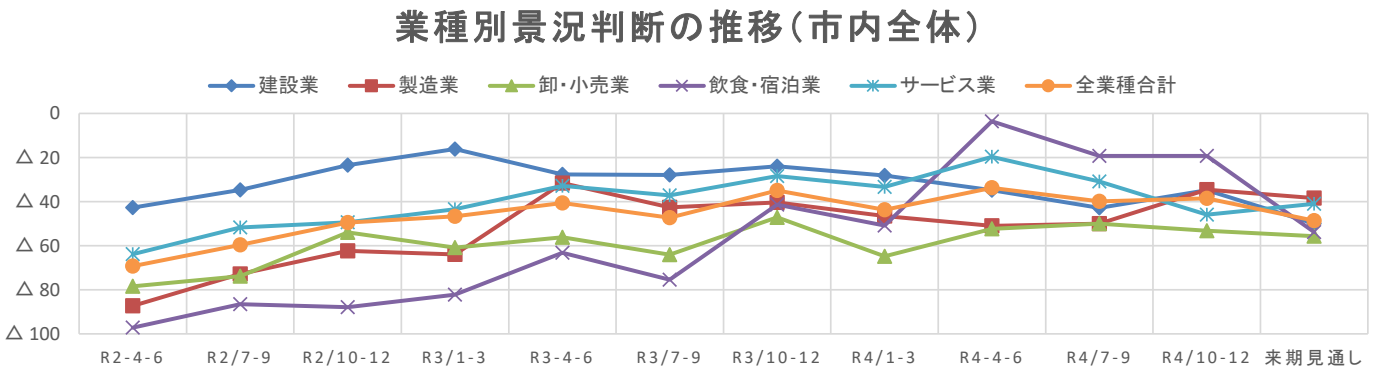
６．景況判断について

・１０月～１２月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

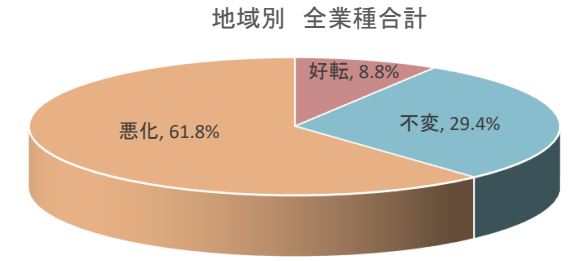


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来　期 見通しDI
建設業	7.1%	50.9%	42.0%	△ 34.8	△ 42.9	△ 50.0
製造業	7.7%	50.0%	42.3%	△ 34.6	△ 50.0	△ 38.5
卸・小売業	7.6%	31.6%	60.8%	△ 53.2	△ 50.0	△ 55.7
飲食・宿泊業	21.2%	38.5%	40.4%	△ 19.2	△ 19.3	△ 53.8
サービス業	3.3%	47.5%	49.2%	△ 45.9	△ 30.9	△ 41.0
全業種合計	8.7%	44.1%	47.2%	△ 38.5	△ 39.9	△ 48.6

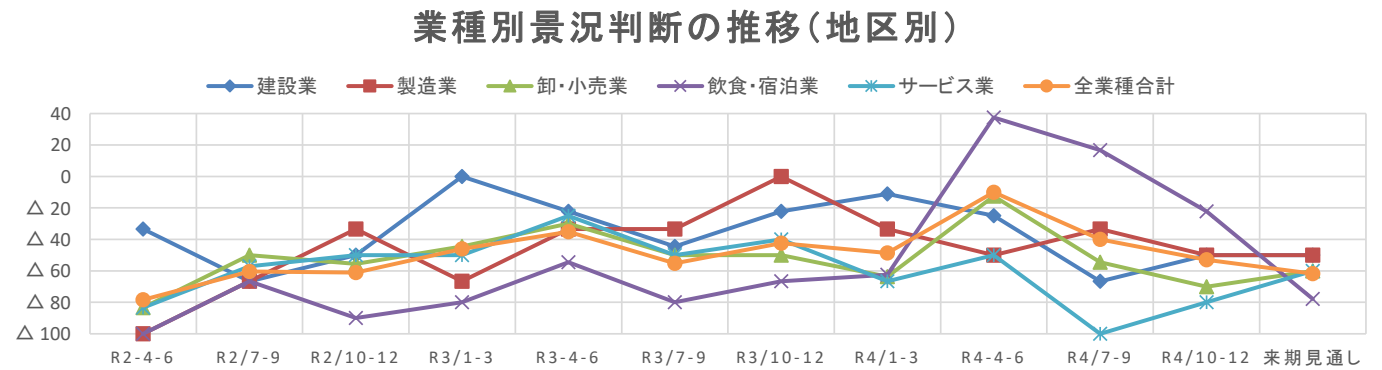


＜コメント＞　十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△38.5ポイントで、前回調査時よりも1.4ポイント改善している。卸・小売業、サービス業で悪化が見受けられた。来期見通しは、サービス業以外で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化の見通しとなっている。今後の動向に注視したい。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来　期 見通しDI
建設業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 66.7	△ 50.0
製造業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 33.3	△ 50.0
卸・小売業	0.0%	30.0%	70.0%	△ 70.0	△ 54.5	△ 60.0
飲食・宿泊業	33.3%	11.1%	55.6%	△ 22.2	16.7	△ 77.8
サービス業	0.0%	20.0%	80.0%	△ 80.0	△ 100.0	△ 60.0
全業種合計	8.8%	29.4%	61.8%	△ 52.9	△ 40.0	△ 61.8

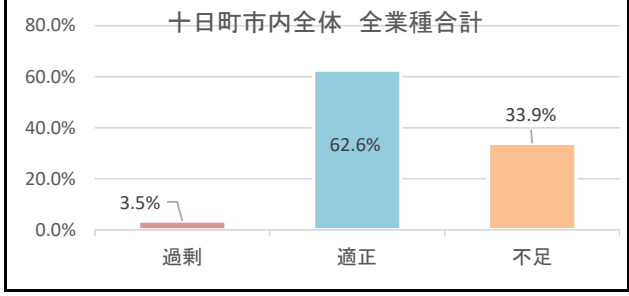


＜コメント＞　松之山地区の今期の景況判断状況は、全業種DI値で△52.9ポイントで、前回調査時よりも12.9ポイント悪化となっている。建設業とサービス業にて好転があったものの、その他の業種で悪化となっており、特に飲食・宿泊業で大きく悪化が見られた。来期見通しでは卸・小売業とサービス業で好転予測があるが、飲食・宿泊業での大きな悪化予測があり、全業種では今期よりも悪化するものと思われる。

７．従業員数について

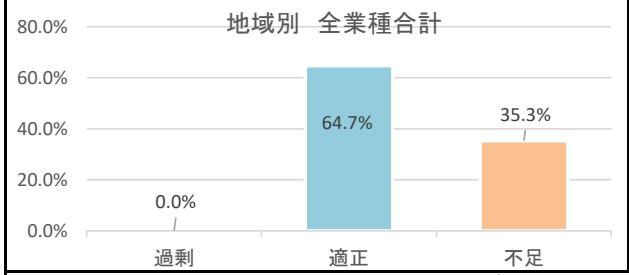
・１０月～１２月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞



	過剰 %	適正 %	不足 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	1.9%	43.9%	54.2%	△ 52.3	△ 59.3	△ 44.9
製造業	11.8%	74.5%	13.7%	△ 2.0	3.5	△ 9.8
卸・小売業	2.6%	73.7%	23.7%	△ 21.1	△ 20.2	△ 17.3
飲食・宿泊業	0.0%	61.2%	38.8%	△ 38.8	△ 27.3	△ 32.7
サービス業	3.2%	72.6%	24.2%	△ 21.0	△ 17.9	△ 17.7
全業種合計	3.5%	62.6%	33.9%	△ 30.4	△ 28.6	△ 27.0

＜地区別：松之山地区＞



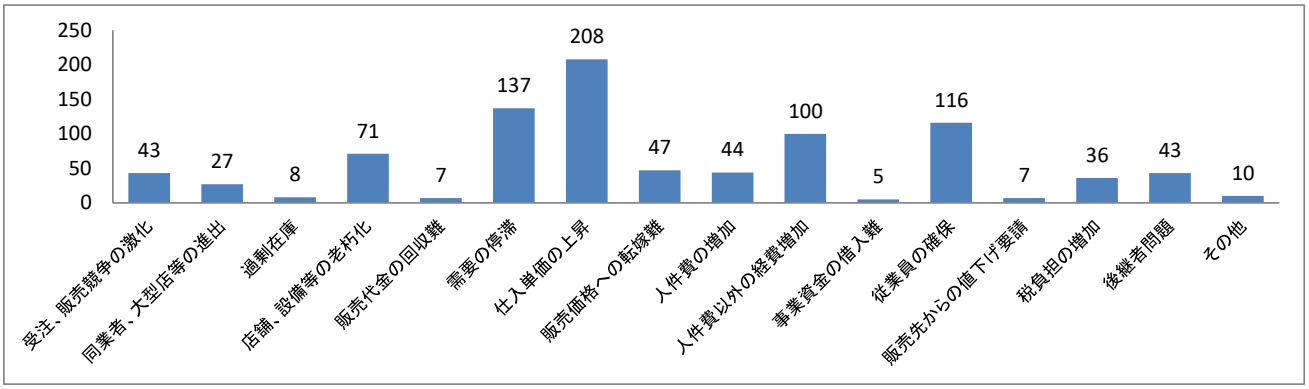
	過剰 %	適正 %	不足 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	0.0%	37.5%	62.5%	△ 62.5	△ 66.7	△ 50.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
飲食・宿泊業	0.0%	55.6%	44.4%	△ 44.4	△ 41.7	△ 33.3
サービス業	0.0%	40.0%	60.0%	△ 60.0	△ 20.0	△ 40.0
全業種合計	0.0%	64.7%	35.3%	△ 35.3	△ 30.0	△ 26.5

＜コメント＞　今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が0.5%減少、適正回答が0.7%減少、不足回答が1.3%前回調査時よりも増加している。

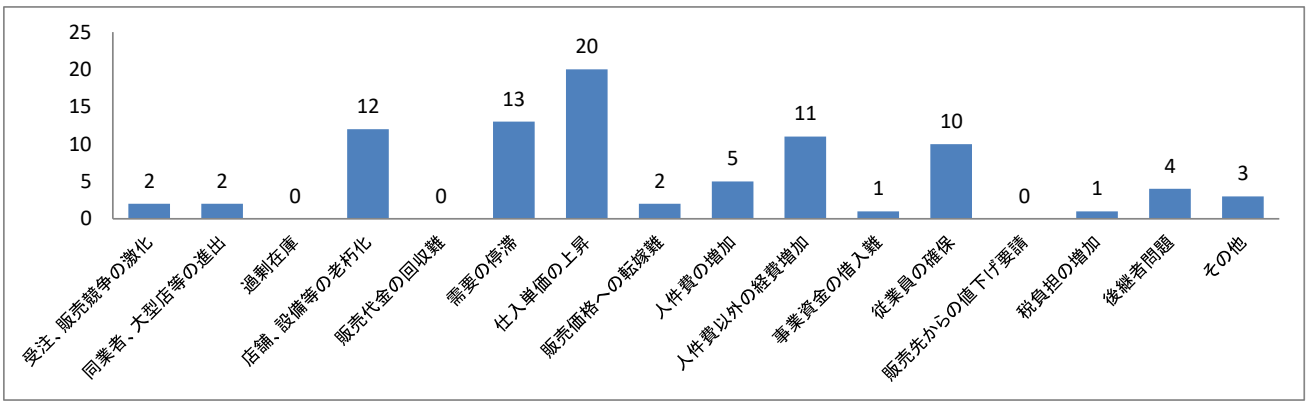
松之山地区の状況は、前回調査時と同様で過剰回答は無く、適正回答が5.3%減少し、不足回答が5.3%増加している。前回調査時に比べサービス業での不足回答が増加している。

８．経営上の問題点（上位３つ）：１０月～１２月

十日町市内全体　全業種合計



地域別　全業種合計



＜コメント＞　今回調査での経営上の問題点は、１位「仕入単価の上昇」、２位「需要の停滞」、３位「従業員の確保」となり、上位３項目の変動はなかった。

松之山地域の経営上の問題は、市内全体と同じく１位は「仕入単価の上昇」、２位が「需要の停滞」となっており、３位は「店舗、設備の老朽化」であった。なお、「人件費以外の経費増加」が４位となっており、電気、ガスなどの価格上昇が経費増加となっているものと思われる。

９．地区の景況概要

・１０月～１２月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、降雪が遅かったことと前年よりも降雪量が少なかったことから売上の減少が見られた。また、原材料や燃料などの高騰も続いていることもあり、資金繰り状況にて悪化となっている。来期見通しでは売上の上昇予測と仕入単価の減少予測があり、採算状況において好転予測となっている。ただし、資金繰り状況、景況判断については今期と同じ数値で回答されている。経営上の問題点では前回と同様で1位「仕入単価の上昇」2位「従業員の確保」となっている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、売上の増加と仕入単価の減少があったものの、販売（客）単価の減少があり、資金繰り状況、景況判断において悪化が示されている。来期見通しでは売上、仕入単価共に今期と同水準と予測されているが、販売（客）単価で大きく減少予測されている。経営上の問題点では「人件費の増加」「販売価格への転嫁難」などが回答されている。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上は前回調査時と同水準にあり、仕入単価の減少があったことから採算において若干の好転が見られた。ただし、販売（客）単価において減少が見られ、景況判断で悪化となっている。来期見通しでは売上の減少予測があるものの、今期と同じ水準で推移するものと思われる。経営上の問題点では、1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「店舗、設備の老朽化」の順となっている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、売上の減少、仕入単価の上昇が見られ、採算状況、資金繰り状況、景況判断で大きく悪化している。来期見通しでは、売上の大幅な減少予測があり、仕入単価の若干の減少予測があるものの、採算、資金繰り、景況判断で今期よりも悪化予測となっている。経営上の問題点では、1位「仕入単価の上昇」2位「店舗、設備の老朽化」3位「人件費以外の経費の増加」の順となっている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、販売（客）単価単価の減少が見られたものの、景況判断で好転が示されている。来期見通しでは、売上の上昇予測があり、採算状況、資金繰り状況、景況判断において好転予測となっている。経営上の問題点では1位「需要の停滞」2位「後継者問題」3位「人件費の増加」の順となっている。